

様式2

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

学校名 伊東市立北中学校

校長名 木梨 晶功

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	伊東市立北中学校 生徒154人
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 () 行事名 ()</p> <p>② その他(学級活動、朝学習)</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<p>2020年の東京オリンピックでは多くの外国人アスリートや観光客が来日するであろうことを踏まえ、人を迎え入れるためのマナーや社会性を身につける。</p> <p>選手たちのオリンピックへの挑戦、挫折などのストーリーを読み、身近に感じることで、生徒個人の何かにチャレンジしたいという気持ちを高めたい。</p>
5 取組内容	<p>(1) 朝学習や学級活動の時間で、オリンピックの歴史、競技種目、アスリートの生き方などに関するDVD映像を見せたり、選手の物語を読んで聞かせたりした。また、人を迎えるマナーや社会性に関する知識をDVD映像で説明した。</p> <p>(2) オリンピックに関する書籍を図書ホールに常時、展示し、選手やオリンピックに関する情報を選手に提供しやすくした。</p>
6 主な成果	<p>(1) に関して</p> <p>マナーに関するDVD映像は小学生向きのため、簡単明瞭であったが、意外とわかっていない事実もあり、参考になった。</p> <p>オリンピックの歴史についても新たな知識として身につけることができた。</p> <p>(2) に関して</p> <p>司書をとおして、生徒にとって見やすく、手に取ってみやすいようなレイアウト掲示をした。最近の選手の写真や記事などをピックアップし、掲示することで生徒の興味関心を向上させることができた。</p>

<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>1年から3年生のどの生徒でも理解することができ、オリンピック選手が身近に感じられるような工夫をした。 生徒が「オリンピック（その他のこと）を目指したい。」と意欲をもてるよう、書籍を手に取りやすいように配置し、多くの生徒に読んでもらえるようにした。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>図書ホールに掲示したオリンピックに関する書籍は限られた冊数しかないので、長い期間掲示しておけないのが現状である。 マナーやオリンピックについてのDVDは、今年度全学年に見せることができたが、来年度からは新入生だけに映像を見せる時間が必要となってくる。教育課程を学年別に組み立てることが必要となった。 パラリンピックについては、本年度の全体計画の中で扱われている福祉教育が老人福祉をテーマとしてあったために丁寧な学習ができなかった。パラリンピックについては、詳細な計画が必要である。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>マナーやオリンピックについてのDVD映像は新1年生のみに実施。図書ホールに展示してある書籍については、2学期以降は学年階へ移動させ、より生徒の身近におけるよう工夫していく。 2020年の東京オリンピックが近づいてくるため、学習発表会や体育祭といった学校行事にもオリンピックに関するものを組み入れていきたいと考えている。 パラリンピックについても、福祉教育や道徳教育などを通じて触れていきたいと計画をたてている。</p>